

第2次加賀市総合計画 中期実施計画

令和3（2021）年度～令和6（2024）年度

加賀市

「第2次加賀市総合計画 中期実施計画」について

「中期実施計画」は、市が様々な施策によりまちづくりを進めていくに当たって、最上位に位置づける計画である「第2次加賀市総合計画」の「基本構想」を実現していくために行う、具体的な事業を設定するものです。

【第2次加賀市総合計画 基本構想】

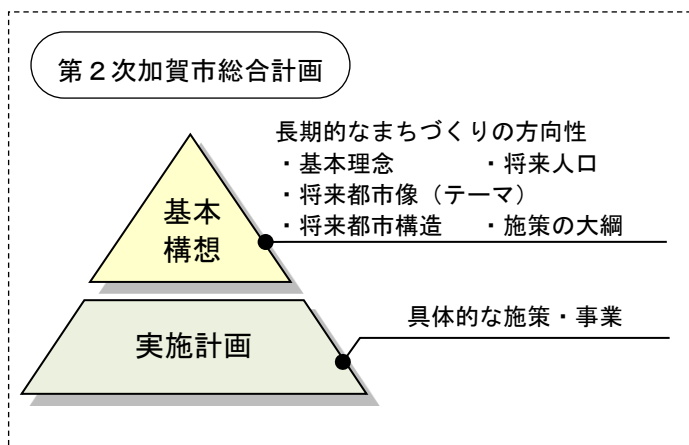
「基本構想」は、おおむね 10 年後の市の目標を設定するものです。

具体的には、市の目指すべきまちづくりの「基本理念」、目標人口を設定する「将来人口」、市のビジョンを示す「将来都市像(テーマ)」、都市の構造を設定する「将来都市構造」、市の施策を体系づける「施策の大綱」などで構成しています。

【第2次加賀市総合計画 実施計画】

「実施計画」では、「基本構想」における「施策の大綱」に沿って、「将来都市像(テーマ)」の実現のために、具体的な施策と事業計画を設定しています。

【第2次加賀市総合計画の構成】



計画の期間

基本構想と実施計画の期間は次のとおりです。

基本構想 平成 29(2017)年度～令和 8(2026)年度の 10 年間

・前期実施計画 平成 29(2017)年度～平成 32(2020)年度の4年間

・**中期実施計画 令和 3(2021)年度～令和 6(2024)年度の4年間**

・後期実施計画 令和 7(2025)年度～令和 8(2026)年度の2年間

まちづくりの将来像

○基本理念

第2次加賀市総合計画 基本構想では、「加賀市民憲章」の考え方を踏襲し、目指すべきまちづくりの「基本理念」として次の3つを掲げています。

- ・歴史と伝統文化の尊重
- ・美しい自然の保全と継承
- ・暮らす人や訪れた人が笑顔になるまち

○将来都市像(テーマ)

自然・歴史・伝統が息づく 住んでいたい 来てみたいまち
～地域の強みを活かし、ともに進める 人・まちづくり～

「基本理念」のもと、市の特徴である観光やものづくりの更なる産業振興と、未来を担う「人」づくりを行うことで、市民や市を訪れる全ての人が、「住んでいてよかった」、「来てみてよかった」と感じてもらえる、賑わいと活気のあるまちづくりを進めています。

施策の体系

第2次加賀市総合計画 基本構想では、将来都市像(テーマ)の実現に向けて、7つの「基本方針」を掲げています。

基本方針1 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり

- ①妊娠期から出産までの支援
- ②子育て支援・サービスの充実
- ③家庭教育支援の充実と環境の構築
- ④魅力ある学校教育内容の充実
- ⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり
- ⑥スポーツ活動の振興
- ⑦生涯学習の振興

基本方針2 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり

- ①戦略的な観光振興策の推進
- ②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進
- ③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進
- ④海外都市交流とインバウンド観光の推進
- ⑤国内都市との広域交流の推進
- ⑥伝統文化の継承・文化活動の充実

基本方針3 ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり

- ①産学官連携によるまちづくりの振興
- ②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援

- ③企業誘致の推進 ④地元就職の促進とPRの推進
- ⑤新規創業の支援 ⑥商工業の振興 ⑦伝統産業の継承・活性化
- ⑧農林水産業の振興

基本方針4 いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり

- ①地域福祉の充実 ②地域包括ケアシステムの構築 ③健康づくりの推進
- ④医療提供体制の充実 ⑤高齢者福祉の充実 ⑥障がい者福祉の充実

基本方針5 みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり

- ①市民交流・まちづくり活動の活性化 ②若者などの移住・定住の促進
- ③独身男女の願いを叶える出会いの創出 ④人権が尊重される社会の形成
- ⑤男女共同参画の推進 ⑥ボランティア活動の推進 ⑦防災対策の充実
- ⑧空き家対策の推進 ⑨交通安全・防犯の充実

基本方針6 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり

- ①自然環境の保全 ②良好な歴史的景観の保全 ③交通ネットワークの充実
- ④地域公共交通の充実 ⑤上下水道の適正管理 ⑥憩いの場の充実

基本方針7 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり

- ①市政への市民参画の促進 ②広報・広聴体制の充実
- ③公共施設の適正な維持管理 ④計画的な行財政運営

中期実施計画で力強く進める5つの項目

1 スマートSDGsの推進

「SDGs(Sustainable Development Goals)」は、2015年9月の国連サミットで採択された国際的な「持続可能な開発目標」です。

2030年までに、人間が地球に住み続けられる(「持続可能」)、よりよい世界を目指す(「開発」)ため、「17のゴール・169のターゲット」から構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

SDGsのゴール・ターゲットは、市が行う施策の多くに当てはまるものです。

市はSDGsの理念に賛同し、官民協働のスマートシティによる持続可能なまち「スマートSDGs」を推進します。

【主な事業】

- ・ 官民連携によるSDGs推進の体制づくり
- ・ SDGsで掲げる「17のゴール・169のターゲット」に当てはまる各事業



2 スマートシティ加賀の推進

スマートシティは、様々な地域課題をAIやIoTなどの先端技術を活用して解決し、社会全体の最適化が図られている都市です。

暮らす市民にとっては生活の質が向上し、来訪者は必要なサービスを最適な形で利用できるとともに地方での魅力的なライフスタイルを感じることができている。そして、様々な企業が新たな事業やサービスを創出し、付加価値の高い産業が集積されている。そのような「スマートシティ加賀」を、市は目指します。

スマートシティ加賀の実現に向けて「スマートシティ加賀構想」で掲げる3つの戦略で取り組みを進めます。

○戦略1 デジタルファースト ～データ駆動型のまちづくり～

先端技術やデジタルツールを活用し、データを最大限に活かすことで地域課題を解決するとともに、産業の活性化や都市機能の高度化を目指す「データ駆動型のまちづくり」を推進します。

【主な事業】

- ▶ スマートシティ推進・デジタルプラットフォーム構築関連
 - ・ スマートシティ推進事業
 - ・ デジタル自治体プラットフォーム事業(仮想加賀市民(e-Residency)の仕組みづくり、都市デジタルツインの構築、台帳のオープンデータ化など)
- ▶ 産業・交通デジタル化関連
 - ・ 地域課題解決実証事業(アバター・ドローン等)
 - ・ スマート農機導入検討事業
 - ・ MaaS 推進事業
 - ・ キャッシュレス決済推進助成事業
- ▶ 健康・福祉関連
 - ・ スマートホスピタル推進事業
 - ・ 健康づくり事業(KAGA 健食健歩プロジェクト)
 - ・ 乳幼児健診事業(検診情報デジタル化)
- ▶ エネルギー関連
 - ・ 地球温暖化対策推進事業(エネルギーマネジメント事業)

○戦略2 クリエイティブ ～創造的なまちづくり～

社会実装実験等により、先端技術を有した市外の先進企業や高度人材を呼び込むとともに、多様な分野で活躍する人材との交流・共創によりイノベーションを促進し、企業の集積と人の流れを創出します。

【主な事業】

- ▶ 高度人材の育成関連
 - ・ (仮称)デジタルカレッジ調査事業
- ▶ 移住定住・ワーケーション関連
 - ・ 移住・定住促進事業
 - ・ ワケーション・テレワーク環境整備事業
 - ・ (仮称)山代温泉広場整備における Wi-Fi 環境の整備

○戦略3 スマートシチズン ～市民との協創によるまちづくり～

市民に先端技術に触れる場やこれを活用したサービスを最適な形で提供するとともに、ITを含む高度専門人材の育成、活用をし、市民と共に学びながら進化し続けるまちづくりを実現します。

【主な事業】

- ▶ 先端教育関連
 - ・ STEAM 教育推進事業
 - ・ 小中学生におけるプログラミング教育の推進事業

- ・ 小中学校 ICT 整備事業
- ・ ロボットプログラミング大会「ロボレーブ加賀」開催事業
- ▶ 高度人材育成関連事業
 - ・ 高度人材育成事業
 - ・ 人材育成の拠点整備事業(スタートアップ支援)
 - ・ KAGA ものづくりラボ運営事業
 - ・ コンピュータクラブハウス加賀運営事業

3 移住・定住の促進

市の人口は、65,295人（令和3年1月現在）で、前期実施計画の初年度（平成29年4月）と比べて3,000人余りが減少しています。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大を契機として、東京一極集中に縮小の傾向が表れるなど、人の流れには都市部への集中から地方への分散といった変化が起き始めています。

このようなことを踏まえ、移住・定住の相談や体験をしやすい環境づくりや、住宅取得等の支援を行い、本市への移住・定住を促進します。

○移住体験や住宅確保等への支援

本市への移住に関心がある人が体験移住や住宅取得をしやすいように体制・支援策を整えるとともに、都市部で働く高度人材や多拠点居住者がテレワーク等によって拠点を構えやすくするなど、中・短期滞在から移住へとつながっていくことを促進します。

【主な事業】

- ・ 定住促進事業
- ・ 移住住宅取得助成事業
- ・ 若年層定住住宅取得助成事業
- ・ 空き家を活用した住宅整備事業
- ・ ワークেশョン・テレワーク促進事業

○移住・定住の相談や情報発信の充実

移住・定住を考えている人が相談しやすい体制を整えるとともに、移住・定住の情報が的確に周知されるようにします。また、空き家を活用した移住住宅の取得がしやすいようにします。

【主な事業】

- ・ 移住・定住ワンストップ相談窓口の設置

- ・空き家バンク事業
- ・地域おこし協力隊支援事業
- ・移住・定住促進の効果的なプロモーション

○高校の魅力化による定住促進

市内の高等学校を、生徒が行きたくなる、また、保護者が行かせたいと思う学校へと魅力を向上させることでそこへの進学希望者を増やし、地域への愛着が醸成されることで将来の定住化につなげます。

【主な事業】

- ・高校魅力化事業

4 子育て支援と先進教育の充実

子育て世代が安心して子どもを生み育てられるための環境づくりと、子どもたちへの充実した教育は、未来の加賀市の活力の源につながっていきます。

保育園、学校、地域住民、市が支えあう中で充実した子育て支援策を行うとともに、これからの時代に必要な思考と能力を育む教育を行い、社会で活躍できる人材の育成を推進します。

○かがっこ応援プロジェクトの推進

妊娠期から子育て支援期までの切れ目ない応援と、子どもの育ちを見通した継続的な支援「かがっこ応援プロジェクト」を推進します。

【主な事業】

- ・出産準備手当給付事業
- ・妊産婦新生児等訪問指導事業
- ・産後ケア費用助成事業
- ・子どもの命を大切にする啓発事業
- ・保育園保育事業（保育園等給食費無料化事業）
- ・子育て応援ステーション運営事業
- ・地域子育て支援拠点事業
- ・放課後児童クラブ利用助成事業

○先進的な教育の推進

小中学校におけるICT機器を活用した教育環境の整備や、課題に対して自ら学び・考え・判断し・表現する力を育成するSTEAM教育などを推進します。

【主な事業】

- ・ S T E A M教育推進事業
- ・ 小中学生におけるプログラミング教育の推進事業
- ・ 小中学校 I C T整備事業
- ・ 小中学校の教育推進事業
- ・ 海外で開催されるロボレーブ大会への参加事業
- ・ コンピュータクラブハウス加賀運営事業

5 北陸新幹線加賀温泉駅開業を見据えた駅周辺整備と観光誘客の推進

令和6年(2024年)に予定される北陸新幹線加賀温泉駅開業により首都圏からのアクセスは大きく向上し、観光客をはじめとした交流人口や移住検討者の増加が見込まれます。加賀温泉駅周辺を市の玄関口としてふさわしい賑わいのある空間として整備するとともに、これを大きなチャンスと捉えた誘客プロモーション等の取組みを積極的に展開し、観光客等の人の流入を促進します。

○加賀温泉駅周辺等整備の推進

交通結節点である加賀温泉駅の機能を充実するとともに賑わい創出やまちの活力を生み出すため、加賀温泉駅やその周辺等の整備を進めます。

【主な事業】

- ・ 加賀温泉駅周辺等整備事業
- ・ 加賀温泉駅前活性化対策事業

○観光振興策の戦略的な展開

北陸新幹線加賀温泉駅開業による観光客の大幅な増加と、ウイズコロナ・ポストコロナを見据えて変化する観光需要に対応した観光振興施策を戦略的に進めます。

【主な事業】

- ・ 加賀温泉郷誘客推進事業
- ・ 三温泉観光誘客助成事業
- ・ 旅行商品企画販売促進PR事業
- ・ 加賀ブランディング情報発信事業
- ・ 北陸新幹線延伸開業プロモーション事業
- ・ 海外都市交流事業
- ・ インバウンド推進事業

○地域資源の魅力向上による誘客

本市の豊かな自然や深みのある歴史と文化を、磨きをかけながら未来へしっかりと引き継ぐとともに、市外の人たちに「訪れてみたい」と思われる地域となるために活用します。

【主な事業】

- ・ 柴山潟遊歩観光ルートプロジェクト事業
- ・ 北前船日本遺産推進事業
- ・ 大聖寺十万石城下町史蹟再生事業
- ・ 旧よしのや依緑園別荘整備事業
- ・ 伝統的建造物群保存地区（橋立・東谷）整備などの推進
- ・ 文化的景観保護推進事業